

## 30年4月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成30年 4月1日～ 30年 4月10日

## 2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
4月分の回答企業数は7社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 荷動き動向 Weight. D. I.

| 品目   |        | 30/4月  | 5月     | 6月     |
|------|--------|--------|--------|--------|
| 入荷動向 | 国産材製材品 | 0.0    | 0.0    | △ 7.1  |
|      | 外材製材品  | △ 16.7 | △ 8.3  | △ 8.3  |
|      | その他    | 0.0    | 0.0    | 0.0    |
| 販売動向 | 国産材製材品 | △ 14.3 | △ 21.4 | △ 7.1  |
|      | 外材製材品  | △ 33.3 | △ 41.7 | △ 25.0 |
|      | その他    | 0.0    | 0.0    | 0.0    |
| 在庫動向 | 国産材製材品 | 14.3   | △ 7.1  | △ 7.1  |
|      | 外材製材品  | △ 8.3  | △ 8.3  | △ 8.3  |
|      | その他    | 0.0    | 0.0    | 0.0    |

・国産材製材品の入荷動向は4月、5月の横ばいから6月は減少に。外材製材品は3カ月連続減少。その他は3カ月連続横ばい推移。

・国産材製材品、外材製材品の販売動向は3カ月連続減少。その他は3カ月連続横ばい推移。

・国産材製材品の在庫動向は4月の増加から5月、6月は減少に、外材製材品は3カ月連続減少。その他は3カ月連続横ばい推移。

## (2) 価格動向 Weight. D. I.

| 品目            |             | 30/4月 | 5月    | 6月    |
|---------------|-------------|-------|-------|-------|
| スギ            | 柱角 KD10.5×3 | 7.1   | 7.1   | 0.0   |
|               | 柱角 KD12×3   | △ 7.1 | 0.0   | 0.0   |
|               | 通し柱 12×6    | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
|               | 桁角          | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
|               | 母屋角         | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
|               | タルキ         | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
|               | 間柱          | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
|               | 加工板         | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
|               | ヌキ          | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
|               | 平割          | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
| ヒノキ           | 柱角 KD10.5×3 | 7.1   | 14.3  | 14.3  |
|               | 柱角 KD12×3   | 0.0   | 0.0   | 0.0   |
|               | 土台角 10.5×4  | 14.3  | 7.1   | 7.1   |
|               | 土台角 12×4    | 7.1   | 0.0   | 0.0   |
|               | 通し柱 12×6    | 0.0   | △ 7.1 | △ 7.1 |
| カラマツ土台角10.5×4 | 0.0         | 0.0   | 0.0   |       |
| 米マツ平角         | 40.0        | 10.0  | 10.0  |       |
| 米マツ割物         | 30.0        | 20.0  | 10.0  |       |
| 北洋エゾマツタルキ     | 0.0         | 0.0   | 0.0   |       |
| 北洋アカマツタルキ     | 0.0         | 20.0  | 20.0  |       |

・スギ製材品は全体的に品薄傾向にあるものの価格は横ばい。

・ヒノキKD柱角、土台角は素材不足のため強含み。その他は横ばい。

・米マツ平角、割物は強含み。

・北洋エゾマツ・アカマツタルキは横ばい。

モニターからのコメント

(荷動き)

- ・米ツガ現地挽きはほとんど入荷なし。WW4m、アカマツ一部、SPF一部、LVL等入荷悪い。販売は全体的に動き悪い。5月も営業日数を数えると悪いと思う。6月は記念市があるため少し良くなるか。在庫は若干多め(関東)。
- ・ヒノキ3m、10.5×10.5 柱材以外は入荷例年並み。米材の入荷状況も良くなく、北洋材の品質も落ちているため、入荷は例年より少ない模様。販売は全体的によろしくない。在庫は例年並み。元落が増えている(中部)。
- ・4月以降の荷動きに期待したい(中部)。

(価格動向)

- ・スギ柱角(KD10.5cm) 60,000円/m<sup>3</sup>、(KD12.0cm) 60,000円/m<sup>3</sup>、スギ桁角(東北材グリーンラフ) 42,000円/m<sup>3</sup>、母屋角(東北材)(二等) 30,000円/m<sup>3</sup>、スギタルキ(東北材) 45,000円/m<sup>3</sup>、スギ間柱(特-KD) 63,000円/m<sup>3</sup>、スギ加工板(東北グリーン材) 東2,800円、(KD材) 東4,800円、スギヌキ(東北) 42,000円/m<sup>3</sup>、秋田材52,000円/m<sup>3</sup> スギ平割(プレーナー) 45,000円/m<sup>3</sup>、同(ラフ) 43,000円/m<sup>3</sup>、ヒノキ柱角(KD)・土台角10.5cm、12.5cm 85,000円/m<sup>3</sup>、米マツ平角 KD 70,000円/m<sup>3</sup>、米マツ割物AD 74,000円/m<sup>3</sup>、北洋アカマツタルキ(アSEMBル単価) (S) 70,000円/m<sup>3</sup>、(P) 60,000円/m<sup>3</sup>、(バンドル単価) (S) 68,000円/m<sup>3</sup>、(P) 58,000円/m<sup>3</sup>(関東)。
- ・スギ柱角(KD) 10.5×3m、12×3mとも価格は下がっていない。スギ材は価格横ばい。ヒノキ柱角(KD)は10.5×3mが足らず価格は強い。10.5×3mは3mより足りているが価格は強い。土台角は足りているので価格は上がりにくい。米マツ平角、割物とも価格は強い。北洋エゾマツ、アカマツタルキは物が悪くなっているため価格は弱い。現状維持であるが、品質の方が安定していない(中部)。
- ・スギ製品は全般的に品薄傾向はあるものの単価は横ばい。ヒノキ柱角(KD)は一時の品薄は改善傾向、相場もやや弱い(中部)。
- ・外材(WW、欧州アカマツ、米マツ)は世界的に需要が増え製品高になりつつある(近畿)。